

福祉と健康の向上で安らぎのあるまち

療育教室を開催

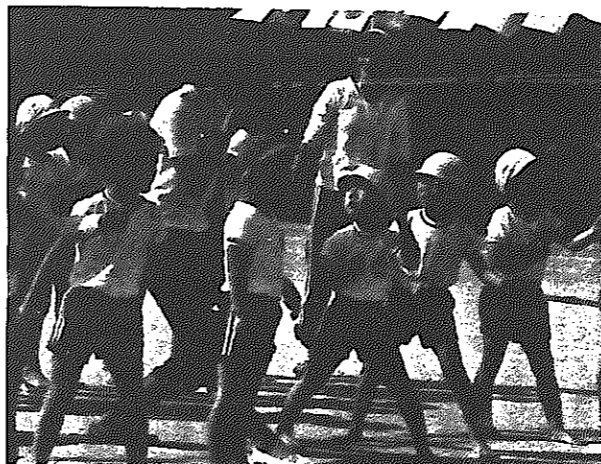
心身発達遅延児の福祉増進のため、療育教室の開催を予定しています。

また、身体障害者や精神薄弱者対策事業は、これまで行ってきたもののほかに、三市中東地域ミニミニの施設整備、体

育館建設負担金として五百十万円を支出します。

九十歳になった人に長寿の記念品を贈呈

お年寄りは、これまで永年になつて社会に貢献してこられた。今年度から、九十歳になつた人に記念品を贈呈することに



しました。

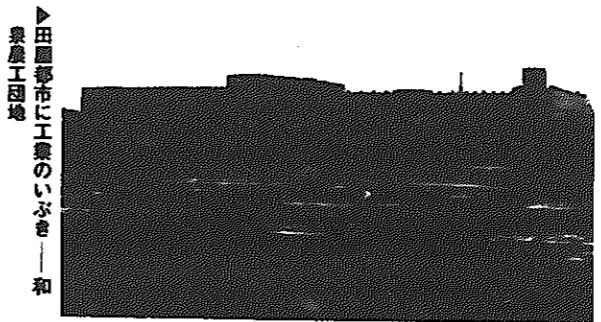
また、老人医療、老人ホームの運営、老人クラブへの助成を行ってまいります。さらに、在宅老人の介護や、家庭福祉員などのボランティア活動にも助成の予算化をいたしました。

諏訪木保育園の移転改築 飼育師児童館の建設

より多くの児童が平等に、設



▶楽しみを届けます。九十歳になつた人に記念品を



▶田園都市に工業のいびき―和泉農工団地

保健センターを建設します

地域住民に密着した健康相談、検診など保健サービスを総合的に行う拠点として、昨年度、用地買収と造成を行った保健センター。今年度はその建設にとりかかります。

当市は「婦人の健康づくりモデル都市」として、五十三年度から三年間、国の指定を受けています。今年度はその最終年度にあたり、医師会、保健会の協力を得て、引き続き事業を進めていきます。

「自分の健康は自分の手で」ということから、昨年開催した健康展。今年さらには充実した健康展を開催します。

子宮ガン検診を無料に

各種予防接種は、引き続き無料として、未接種者の防止に努めてまいります。各種検診も計画的に無料化を行ってまいりましたが、今年度は、子宮ガン検診を無料にいたします。

ハガキで市長と対話から

私の意見・要望

住みよくなるまちづくりをめざすには、みなさんがどんなことを望んでいるかを知ることが大切です。

そのため、地区広聴会や、市長と小・中学生の対話を、毎年行っています。

また、「ハガキで市長と対話」もその一つ。このハガキでの意見・要望を、一部で紹介いたします。

市民がくつろげる広場や公園を

白根市は稲作地帯で、緑に欠くことはありませんが、緑が多いというだけで、それが直接、市民に役立っているとは思えません。緑の少ない都市では、つねに緑地や公園で、それを確保しています。

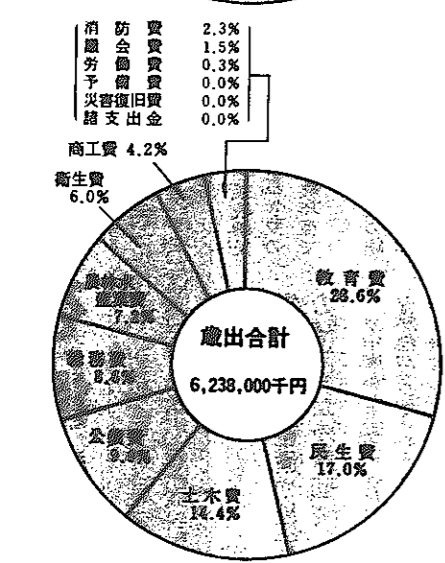
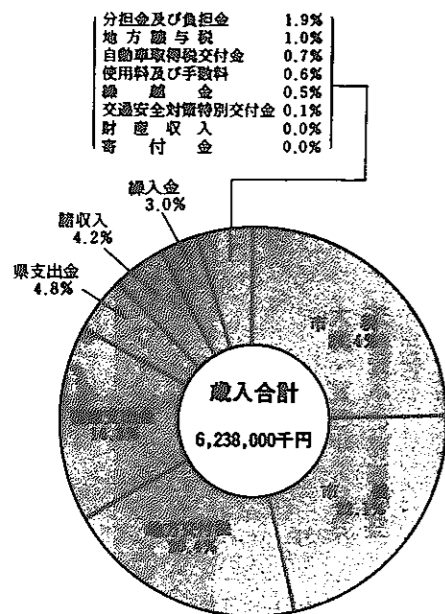
広い土地があるにもかかわらず、公園とか広場が少ないように思われます。白根市でも緑地計画が作成されていると思いますが、どうなっていますか。

(公務員・二十三歳)

用水路に防護サクを

白根市の農業用水路は、立派で全国でも有名なこと。でも、私の子どももよく用水路に落ちます。さいわい大事にいたりま

一般会計歳入歳出予算比較表



4つちやなときから健康づくり。「あーん、大きな口をあけて」

肺ガン検診は前年度と同じく大郷・鷺巻地区の住民を対象に実施し、早期発見・早期治療を指導します。

母と子が健康な毎日をおくられるよう、妊産婦の母体保護、乳児の健全な発育のために、医療費などの助成を行ってまいります。

中小企業近代化資金制度の拡大

最近の厳しい経済環境のなか少しでも中小工業者の近代化を助けるために、中小企業近代化資金制度を改めることも必要です。そのため、条例の一部を改正します。

融資対象者の拡大として、資本金および出資額が一千万円以下の法人を、一千五百万円までの法人にも融資できるようにしました。融資額は組合の場合、二千万円を五千万円に引き上げ。

和泉農工団地を本市工業の核に位置づけ

和泉農工団地は、そのほとんどに企業立地が確定し、今年中には、その大半が操業する予定です。製造出荷額は四百六十六万円で従業員数は六百七十人規模の団地が形成されます。

これからは、工業適地にふさわしい環境保全に努め、本市工業の核として位置づけられるようにしていきます。

償還期間を法人または個人の場合、五年以内を七年以内に、組合の場合、七年以内を十年以内に延長します。

融資物件の範囲は、首業用の建物施設、組合による共同化、商店街の近代化の促進用地など、融資対象を拡大しました。担当は、市商工課商工振興係（☎七三・二二二〇二二七）です。

主な予算は次のとおりです

民生費	一〇億六、二二七万円
社会福祉費	三億七、五六五万円
老人福祉対策費	二億一、四一六万円
国民年金費	六、九七七万円
高額療養費貸付事業費	一、〇〇二万円
児童福祉費	五億四、一九九万円
児童措置費	三億一、三七二万円
母子福祉費	三五六万円
児童福祉施設費	二、九四二万円
保育所建設費	一億〇、〇三三万円
児童館建設費	一、六四四万円
生活保護費	一億四、四三三万円
扶助費	一億二、九四八万円
衛生費	三億七、五八〇万円
(衛生費・保険衛生費は再掲)	
保健衛生費	二億九、一〇〇万円
予防費	九八三万円
国民健康づくり推進事業費	四七七万円
保健センター建設事業費	一億五、五〇一万円
労働費	一、八八〇万円
商工費	二億五、九七九万円
商工業振興費	二億一、七八八万円
観光費	五五七万円

「予算」は家庭の家計簿と同じです

日ごろ「予算」とか「財政」ということは、耳にしますが、これは、市民にとって、ひじょうに重要なことなのです。

家庭には家計が、会社には会計があるように、国や地方公共団体（都道府県や市町村）には、予算というものがあります。予算を中心とした国や地方公共団体の活動を、一般的に「財政」とも呼んでいます。

国・県・市町村は、私たち個人の力、活動にまかせてはできない仕事をするために組織されています。たとえば台風災害の復旧、治安の維持、教育の振興、道路、上下水道の普及、社会保障の充実などの仕事があり、その目的です。

これらの仕事は、国や県・市町村とが、それぞれ決められた分担によって行いますが、このような公共的な仕事には、多額のお金がかかります。

このお金は、市の場合にはみなさんからの税金が主体となり、国や県からの補助金、使用料や手数料、財産からの収入、その他の収入などによって、まかなっています。

「予算」は、こうして集められたお金を、いろいろと考えながら配分し、各事業を有効に実施していくくみで、各家庭の「家計簿」と同じような意味で、大切なことです。